PETER DAVID BETER・音声書簡 第14号

1976年7月19日

テーマ1 ベター氏の1976年のミサイル危機疑惑

1 ベターは真珠湾を呼び出し、新たな奇襲攻撃を警告する。



2 ソ連の裏切りが違反する可能性がある秘密の核安全地帯を主張する。



3 キューバのミサイル危機とガイアナのミサイル疑惑を結びつける。



4 カナダのダイバーが1971年にバンクーバー近郊で海底ミサイルを発見したと話す。



5 彼はソ連の回復努力は腐食と信頼できない武器に帰している。



6 彼は、新しい展開のためのカバーを提供する海洋学協力を主張する。



7 米軍は、少なくとも10隻の海底ミサイルと4発の爆弾を、沿岸海域で発射した。



8 真珠湾と名付けられ、共同長に直ちに調査するよう促している。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第14号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第14号

1976年7月19日

テーマ2 二世紀後のアメリカにおけるヒトラーの類推

1 ベターは現代のテレビの説得と権威主義的な大衆宣伝を比較します。



2 彼はロックフェラーの利益がヒトラーの石油と電力の上昇に役立ったと主張している。



3 クレオール石油事業とネルソンの戦時中の政府の役割を結びつけている。



4 宣伝、危機、そして明らかに合法的な手法は独裁政権を可能にすると、彼は主張する。



5 彼はリスナーに、彼が引用した本や憲法案を調べるように頼む。



6 彼はヒトラーの在職中の任命と非常事態権限を比較している。



7 彼はライヒスターグの非常事態をアメリカの大統領令と対比している。



8 彼はオーダー11490と11921を強調し、リスナーに連邦登録簿を読むように求めます。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第14号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第14号

1976年7月19日

テーマ3 恐怖に暮れた彼の将来

1 ベターは戦争の後、自分が恐れる生存の意味を問う。



2 ロックフェラー独裁の下での強制的再建を予測している。



3 被害を受けたダムや鉱山、大規模農場の間で移動した生存者を述べている。



4 ソ連の裏切りは独裁制を占領に置き換えるだろうと、彼は言います。



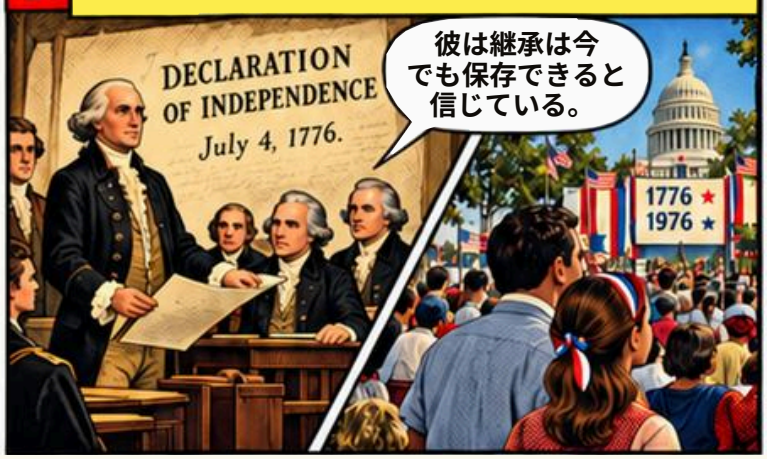
5 彼は2つの結果のうちどちらを選ぶかを拒否する。



6 彼は疑惑に直面して、不信と無行動に警告する。



7 彼は創業者とアメリカの200年の遺産を名乗る。



8 彼は、手遅れになる前に自由国を救うという訴えで締めくくります。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第14号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。